

美術科

教科の目標(身につけさせたい力)

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を工夫して創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

学習する単元

学期	月	1年	2年	3年
1 学 期	4	オリエンテーション (1) 色の学習 (4) 色の三原色や色の三要素など色の性質を学び、混色の効果や配色の工夫し、アクリル絵の具に慣れる。	オリエンテーション(1) 西洋美術史を学ぼう (1) 西洋美術史の流れを理解し、表現に生かすようにする。(原始～中世)	オリエンテーション(1) 遠近感のある絵 (8) 錯覚からどのようにしたら遠近感や、立体感のある絵が描けるかを学び、実践する。
	5	時間割をつくろう (5) 明朝体・ゴシック体やレタリング技術を学び、クラスの時間割を共同制作する。	本物に迫ろう (7) 色々の製品を、粘土とアクリル絵の具で本物に迫りながら制作する。	日本美術史を学ぼう (1) 特に仏像や寺院、庭園などについて学び、修学旅行に生かす。(縄文～室町)
	6	陶芸に親しもう! (2) 日常に使うもの(マグカップ)を自分で作り、陶芸の基本技術を知るとともに、陶芸の良さを味わう。(成形 板づくり)	美術で使う言葉 (1) 明美術でよく使う専門的な言葉を理解し、使用できるようにする。	身近なユニバーサルデザイン (1) 自分の身の回りにあるユニバーサルデザインを見つける
	7		コンクールに出そう (1) 明るい選挙啓発、薬物乱用防止を訴える、表現豊かなポスターを意欲的に制作する。	コンクールに出そう (1) 環境保全を訴えるポスターを意欲的につくる。
2 学 期	9	木彫を楽しもう (15) 基本の彫りや飾り彫りを学び美しく彫って、木彫のレリーフを制作する。	ポスター鑑賞 (1) 明るい選挙啓発、薬物乱用防止の作品を鑑賞する。	ポスター鑑賞 (1) クラスの生徒作品を鑑賞する。
	10	陶芸に親しもう! (2) 釉薬付けの理論を知り、デザイン、色合いを工夫し、釉薬付けをする。(釉薬づけ)	版画の魅力を感じよう (14) 凸版、凹版、孔版、平版それぞれの版の特徴を理解し、特長を生かし、表現する。	美術館鑑賞授業 (2) 9/12 東京国立近代美術館での鑑賞授業
	11	美術館鑑賞授業 (2) 10/17 現代美術館での鑑賞授業	美術館鑑賞授業 (2) 11/7 アーティゾン美術館での鑑賞授業	ユニバーサルデザインを作ろう (10) 自分の身の回りの環境を豊かな環境にするために、構想を練りデザインする。
	12	陶芸に親しもう! (2) 自分の作った作品を実際に使ってみてもの大切さを知るとともに、陶芸の良さを味わう。(鑑賞)	西洋美術史を学ぼう (1) 西洋美術史の流れを理解し、表現に生かすようにする。(ルネッサンス～近代)	日本美術史を学ぼう (1) 特に仏像や寺院、庭園などについて学ぶ。(鎌倉～江戸) ピクトグラムを作ろう (2) 自分の伝えたいことを構想を練り、明度差のある2～3色で表現する。
3 学 期	1	モダンアートテクニックを学ぼう (3) 10種類のモダンアートテクニック(技法)を学び、技法を使って作品ができるように練習する。	アナモルフォーシス (5) 図形の拡大、縮小、変形の仕方を学び、身近なものや、見慣れた物を変化させ制作する。	作家研究をしよう (6) 日本、西洋の画家をコンピュータなどを使い調べ、どのような作品をどのような考えで作ったかを理解し感じ取らせる。
	2	よく見て描こう (7) 鉛筆デッサンの基本を学び、よく見て描くことを身に付ける。	西洋美術史を学ぼう (1) 西洋美術史の流れを理解し、表現に生かすようにする。(印象派～現代)	日本美術史を学ぼう (1) 特に仏像や寺院、庭園などについて学ぶ。(明治～現代)
	3	ポスター(歯の健康) (2) 1年生で行った内容を活かしてポスター制作を行う。		

主な評価方法

1年	内 容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	テスト（観点別）	○	○	○
	アナモルフォーシス	○	○	○
	透視図法作品		○	○
	授業観察			○
2学期	定期考査（観点別）	○	○	○
	ポスター	○	○	○
	鑑賞ワークシート		○	○
	身近にあるユニバーサルデザイン		○	○
	ユニバーサルデザイン企画		○	○
	ユニバーサルデザイン完成	○	○	○
	授業観察			○
3学期	テスト（観点別）	○	○	○
	ピクトグラム	○	○	○
	作家研究	○	○	○
	授業観察			○

2年	内 容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	定期考査（観点別）	○	○	○
	よい歯のポスター	○	○	○
	本物そっくりにする	○	○	○
	授業観察			○
2学期	定期考査（観点別）	○	○	○
	ポスター	○	○	○
	凸版	○	○	○
	凹版	○	○	○
	鑑賞授業ワークシート		○	○
授業観察			○	
3学期	定期考査（観点別）	○	○	○
	孔版	○	○	○
	平板	○	○	○
	授業観察			○

3年	内 容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	定期考査（観点別）	○	○	○
	12色相環	○		○
	ノート			○
	時間割表	○	○	○
	授業観察			○
2学期	定期考査（観点別）	○	○	○
	木彫	○	○	○
	ノート			○
	鑑賞授業ワークシート		○	○
授業観察			○	
3学期	定期考査（観点別）	○	○	○
	デッサン		○	
	ノート			○
授業観察			○	